

たん



財団法人 日本医療機能評価機構認定病院



医療法人 社団

光仁会 梶川病院グループ 広報誌

ほほ

●医療法人 社団 光仁会の理念

「光仁会は 地域の人々の健康と幸に貢献し
あわせて働く人達の健康と幸せを追求します」

●医療法人 社団 光仁会の基本方針

「地域包括ケア」「医療療養」「透析医療」を三本の柱とし
予防・治療・在宅まで切れ目のない医療を提供し

地域医療に貢献します

2024年 夏号



北本医師と外来看護スタッフ

特集：危険な脂肪肝

●委員会紹介：業務改善委員会

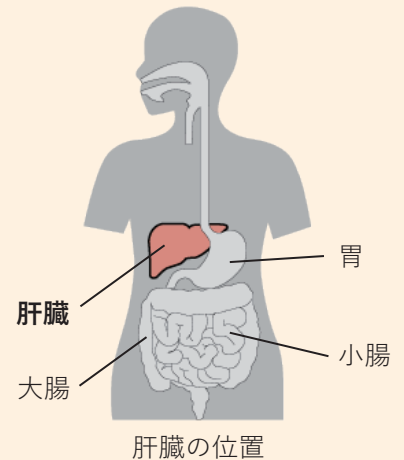
●介護施設情報：通所リハビリテーションすみれ

●光仁会 梶川病院トピックス

危険な脂肪肝

肝臓に過剰に脂肪がたまってフォアグラ状態になってしまったのが「脂肪肝」です。健康診断で脂肪肝と言われたことがある方は多いのではないのでしょうか？ 今や日本人の約1/3が脂肪肝の状態であると考えられています。

近年、この脂肪肝により肝臓の組織の繊維化が進み、やがて肝細胞癌へと至る患者さんが増えてきています。今回はそのような危険な脂肪肝について、肝臓の専門医の立場から説明していきたいです。



肝組織の線維化

肝臓の炎症が6か月以上持続する状態を慢性肝炎と言います。その一般的な原因として、B型およびC型肝炎ウイルス、脂肪肝、アルコール性肝疾患、自己免疫性肝疾患などがあり、これらの原因により肝臓の組織に炎症が持続すると、①肝細胞の破壊と再生する組織修復の過程で線維化を来し、②肝細胞が線維に囲まれてかたまりになり組織が硬くなって、③やがて肝硬変(肝臓が硬くなった状態)へと進展していくことになります。

肝臓は一部に障害があっても残りの部分がカバーするため初期には症状がありませんが、線維化が進むことで黄疸(おうだん:白目や皮膚が黄色くなる)、腹水(お腹に通常より水がたくさん貯まった状態)、肝性脳症(有害物質が脳に達することで発生する脳機能の低下)などの症状、合併症が現れます。また、線維化が進行すると元通りにはならないと考えられています。

脂肪肝から肝硬変へ

肝組織の線維化の原因の一つである脂肪肝は、単純脂肪肝、NASH(非アルコール性脂肪性肝炎)とMAFLD(代謝異常関連脂肪肝)に分類されます。このうちのNASHは「非アルコール性」とあるように、アルコールの影響が極めて少なくても肝線維化が進行しうることを示しています。

NASHとMAFLDのいずれも、生活習慣病に起因するメタボリックな要因を有することで心筋梗塞、脳卒中、末梢動脈硬化症、腎臓病などの臓器疾患の合併が多くなることが知られています。また同時に、脂肪肝から肝硬変へ進行し、やがて肝臓癌を発症する方や、静脈瘤出血などの肝合併症で死亡する方も少なからず存在しています。

●単純性脂肪肝 一般に良性の経過をたどる。

●NASH(非アルコール性脂肪性肝炎)

ほとんどアルコールを飲まない人に起こる脂肪肝の内、肝硬変、肝臓癌へと進行する可能性があるもの。

●MAFLD(代謝異常関連脂肪肝)

脂肪肝に加えて、過体重(日本を含むアジアではBMI 23以上)、糖尿病、2種類以上の代謝異常によって診断される。最近の非B非C例の肝細胞癌の過半数を占めている。(右頁グラフ参照)

当院における脂肪肝の検査

脂肪肝から肝硬変へ至る過程での検査には、採血検査と肝画像診断があります。

採血でできる肝線維化マーカーとして、ヒアルロン酸、IV型コラーゲン、M2BPGiなどが知られており、脂肪肝から肝硬変に近づくに従い低下する血小板も良好な指標となっています。AST・ALT・血小板・年齢の4項目から算出されるFib4 indexは、幾多ある肝線維化スコアリングシステムのうち有用とされ、脂肪肝診療マニュアルのガイドラインにも使用されています(ただし高齢者で高めにしやすい問題点が指摘されています)。

また、予想外の肝腫瘍をスクリーニング(ふるい分け)すると共に、肝線維化の進行程度を予測するために、超音波やCT、MRIなどの肝画像診断も最低年1回は受けた方が良いでしょう。

私の外来では、まず超音波検査を行い(私が施行いたします)、肝線維化が進行する「危険な脂肪肝」を見分けることで、今後の生活習慣の改善について相談していきたいと考えています。

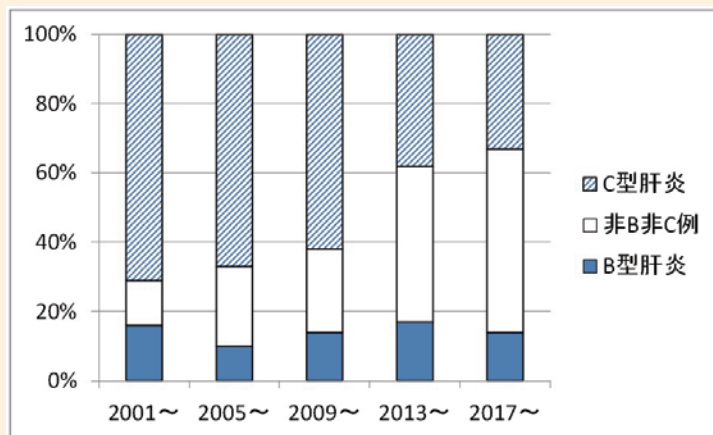


超音波診断装置

肝癌の年次別頻度

右のグラフでもわかるように、2013年以降からC型肝炎例が減少し、明らかにB型肝炎でもC型肝炎でもない事例(非B非C例)が増加しています。非B非C例の約半数近くはアルコール多飲歴があり、アルコール性肝硬変からの肝発癌と考えられますが、残りはNASHやMAFLDからの脂肪肝が肝硬変に進展して発癌したと考えられます。

この傾向は全国的なものであり、同様の報告がなされています。



肝癌の腫瘍マーカー別の年次推移(私の前任病院での集計)

病気を招かないために

過体重・肥満は、肝硬変を含めあらゆる病状を深刻化させる引き金となりますので、まず減量が必要です。そのためには3食のリズム作りと適度な睡眠、ストレス解消、便秘を回避するなどの生活習慣を再構築することも必要です。

また、年齢を経てもメタボリックな要因を一つも持たない方は少ないはずですし、飲酒される方も多いでしょう。少ない飲酒量でも、メタボリックな要因をアルコールが修飾し、肝線維化を進行させ、高血圧、糖尿病、脂質異常症などを悪い状態に仕向けることが危惧されることから、節酒を心がけることも大事です。

以上から、将来の健康を維持するためには、体重制限と節酒の両立が重要だと考えられます。あわせて、健康診断で脂肪肝と言われたら、まずは当院消化器内科をご受診ください。



消化器内科部長
きたもと みきや
北本 幹也

元 県立広島病院
消化器内科主任部長



委員会紹介

業務改善委員会

■業務改善委員会の役割

業務改善委員会は、働きやすい職場環境を整え効率的な業務の執行のために業務改善を図ることを目的として2020年に組織され、いろいろな改善活動に取り組んでいます。

その活動内容は、病院機能評価での評価項目に対しての問題改善、医療安全管理委員会に提出されたインシデントからの改善、各部署・各委員会から提出された問題についての改善、院内のハード面の改善、5S活動による改善、教育面での改善、過去に改善した内容についての検証など多岐にわたり、2022年度には50項目、2023年度には66項目の業務改善を行いました。特に2023年度は、日本医療機能評価機構による病院機能評価の審査が行われ、委員のみならず病院全体で力を入れて取り組んだ結果、11月に通算6回目の認定(一般病院1 3rdG:Ver3.0)を受けることができました。

しかし今回の認定はゴールではなく、次の5年間へのスタートとなりますので、引き続き現状把握(PPLAN)、改善活動(DO)、評価(CHECK)、維持定着確認(ACT)のいわゆるPDCAサイクルを用いて新たな改善に取り組んでいきます。

また、業務改善は委員だけが行うものではなく、病院スタッフ全員が参加して行う必要があります。今後も医療の質の向上に向けて、継続的な改善に取り組んでいきます。



会議には多職種が参加します



時に議論が白熱します

■「病院機能評価」とは？

「病院機能評価」とは、日本医療機能評価機構による病院の評価です。

国民の健康と福祉の向上に貢献することを目的とする公益財団法人として1995年に設立された日本医療機能評価機構は、病院が備えているべき機能について、中立・公平な専門調査者チームによる「病院機能評価」審査を行い、一定の水準を満たした病院を「認定病院」としています。

評価を行う項目は「患者さんの視点に立って良質な医療を提供するために必要な組織体制」や、「実際に医療を提供するプロセス」、「病院全体の管理・運営体制」など、約90項目があります。

信頼できる医療を確保することを目的に、専門調査者が病院の機能を評価することで、その病院の課題を明らかにして医療の質改善を支援するものです。



認定病院のロゴです

通所リハビリテーションすみれでは、利用者さんの手作りにこだわった季節の作品を毎月展示しています。どの作品も、出来るだけたくさんの方が取り組めるように作業工程を分割し、来所いただいた日付に関わらず、ご自身の出来る範囲で取り組んでいただいています。

元旦、節分、お月見など題材は毎月いろいろあります。素材に薄いお花紙を使用し、水を付けながら細かく丸めた後に乾燥させ、上手く揃えながら台紙に貼っていくという工程をたどります。どの工程も細かい作業になりますが、皆さん完成を楽しみに真剣に取り組まれています。



「節分」では、ユーモアある赤鬼・青鬼を作成しました

作業工程を分割し、いろいろな方の協力を得ながら作成していきますので、皆さんで完成を喜べます



「夏」はかき氷ですね！



「月見」は団子ですね！



「春」を題材とした作品では、赤系統のお花紙をたくさん使用して作成します

光仁会 梶川病院グループでは、医療から介護への切れ目のないサービスを提供しております。



広島市域

【通所リハビリ】
【訪問看護】
【居宅介護支援】

通所リハビリテーションすみれ
あしたば訪問看護ステーション
居宅介護支援事業所リンデン



光仁会 梶川病院トピックス

2023年11月2日 救急蘇生訓練を行いました

「廊下で倒れている患者さんを発見した」というシナリオで救急蘇生訓練を実施しました。

医師と看護師だけではなく、多職種が参加するとともに、訓練の様子を動画撮影して、全職員が視聴するようにしました。

いつ発生するか分からない急変にスピーディに的確に対応できるよう、今後も訓練を継続していきます。



訓練には色々な職種が参加しました

2024年2月18日 第49回広島県病院学会に参加しました



発表者の2名



発表の様子です

第49回広島県病院学会が広島県医師会館で開催され、当院からは理学療法士、医療ソーシャルワーカーの2名が参加しました。

受賞はなりませんが、今後も医療サービス向上のために積極的に参加し、取り組んでまいります。

2024年3月14日 新人教育支援制度 活動成果報告会を開催しました



新人と支援スタッフとの記念写真です

当院では、新人職員が安心して仕事に取り組める環境づくりや成長のサポートを行うことを目的として、新人教育支援制度を設けています。

新人職員にプリセプターとチューターを任命し、指導や教育全般にとどまらず、部署の垣根を越えて職場への適応や精神面での支援を行います。

この度、1年間の活動成果報告会が開催されました。 部署長をはじめ、多くの職員が見守る中、それぞれの取り組みや成長した点などが発表され、温かい拍手が送られました。



外来担当医師紹介



院長
すえまる なおこ
末丸 直子
内科
《外来診察日》
月・木・金曜日



副院長
くめ たかし
久米 隆
泌尿器科
《外来診察日》
月・水(隔週)・木・金曜日



副院長
あさみ よしあき
浅海 良昭
外科・内科
《外来診察日》
月・火・木曜日



血液内科部長
いわと こうじ
岩戸 康治
血液内科
《外来診察日》
火・水(隔週)・金・土曜日



消化器内科部長
きたもと みきや
北本 幹也
消化器内科
《外来診察日》
水・金曜日



おおなり さゆり
大成 小百合
腎臓内科
《外来診察日》
金曜日



くしはた しげゆき
串畑 重行
非常勤 内科・禁煙外来
・頭痛外来
《外来診察日》
水曜日



はらだ ひとし
原田 仁
非常勤 整形外科
《外来診察日》
月・木曜日



なかはら みつる
中原 満
非常勤 泌尿器科
《外来診察日》
火曜日



こはだ ゆうき
小羽田 悠貴
非常勤 泌尿器科
《外来診察日》
水曜日



外来診療 予定表

診療時間

午前 9:00～13:00

・受付は12:30まで
・リハビリ受付は12:00まで

午後 14:00～18:00

・受付は17:30まで
・リハビリ受付は17:00まで

休診日

土曜日午後
日曜日・祝祭日
8月14～16日
12月30日～1月3日

※ 令和6年4月1日現在

		月	火	水	木	金	土
内科	午前	末丸直子 (9時半から)	浅海良昭	北本幹也 岩戸康治(隔週)	末丸直子	末丸直子 大成小百合	岩戸康治
	午後	浅海良昭	岩戸康治	串畑重行 ※禁煙外来 ※頭痛外来	浅海良昭	岩戸康治 北本幹也	
外科	午前		浅海良昭				
	午後	浅海良昭			浅海良昭		
泌尿器科	午前	久米隆	中原満	久米隆(隔週) 小羽田悠貴	久米隆	久米隆	広大泌尿器科
	午後	久米隆	中原満	久米隆(隔週) 小羽田悠貴		久米隆	
血液内科	午前			岩戸康治 (隔週)			岩戸康治
	午後		岩戸康治			岩戸康治	
消化器内科	午前			北本幹也			
	午後					北本幹也	
腎臓内科	午前					大成小百合	
	午後						
整形外科	午前	原田仁			原田仁		
	午後	原田仁 (15時から)					

病院概要

名称	医療法人社団光仁会 梶川病院
所在地	〒733-0022 広島市西区天満町8番7号
電話番号	082-231-1131 (代表)
FAX	082-231-8866 (代表)
URL	http://www.kajikawa.or.jp
開設	1980年5月(昭和55年)
院長	末丸 直子
診療科目	内科・外科・肛門科・泌尿器科・血液内科 消化器内科・整形外科・人工透析内科 腎臓内科・神経内科・胃腸科・放射線科 リハビリテーション科
病床数	88床 (地域包括ケア病棟48床、医療療養病棟40床)
基準	地域包括ケア病棟1 療養病棟入院基本料1(在宅復帰機能強化加算)
併設	通所リハビリテーションすみれ(定員40名)
主な設備	オープンタイプMRI 16列マルチスライスCT 高精度デジタルX線透視装置 等

光仁会 梶川病院は、地域の在宅医療を支える病院です

透析を含む一般内科・
外科・泌尿器科を中心と
した治療を行っています

個々に応じたりハビリを
行い、在宅・社会復帰に
向けたきめ細かな支援に
力を入れています

人工透析をされている、
もしくは導入予定の方は、
退院後も外来透析が可能です
(フェニックスクリニックにて実施)

各部署が連携をとりながら
情報を共有し、患者さんひとり
ひとりに合った医療・介護を
提供するよう心がけています

周辺案内図

公共交通をご利用の方は

- ・広島電鉄市内線
天満町電停下車 徒歩2分
- ・広島バス25号線
天満町バス停下車 すぐ



光仁会 梶川病院 グループ

【広島市域事業所】

- ① 光仁会 梶川病院(入院・外来)
電話:082-231-1131
〒733-0022 広島市西区天満町8-7
- ② フェニックスクリニック(人工透析)
電話:082-293-8400
〒733-0031 広島市西区観音町7-29
- ③ あしたば訪問看護ステーション
電話:082-234-0585
〒733-0022 広島市西区天満町13-19
- ④ 通所リハビリテーションすみれ
電話:082-231-1196
〒733-0022 広島市西区天満町8-7
- ⑤ 居宅介護支援事業所リンデン
電話:082-297-7717
〒733-0022 広島市西区天満町13-19

【廿日市市域事業所】

- 介護老人保健施設べにまんさくの里
電話:0829-50-0031
〒739-0478 廿日市市大野1320



財団法人 日本医療機能評価機構認定病院

医療法人 社団



光仁会 梶川病院

内科/外科/肛門科/泌尿器科/血液内科/消化器内科/整形外科/人工透析内科/
腎臓内科/神経内科/胃腸科/放射線科/リハビリテーション科

発行:医療法人社団光仁会 梶川病院
編集・文責:法人管理本部

〒733-0022 広島市西区天満町8-7
TEL(082)231-1131(代) FAX(082)-231-8866(代)
<http://www.kajikawa.or.jp>